

自ら考え 自ら学び たくましく生きる

絹義務教育学校の小中一貫教育



次代を担う子ども像

- 自分の考えをもち、進んで学習できる児童生徒
- コミュニケーション能力を身に付け、よりよく人と関わる児童生徒
- 目標をもち、最後まであきらめずにがんばることができる児童生徒



全校共遊で作成した人文字



重点目標

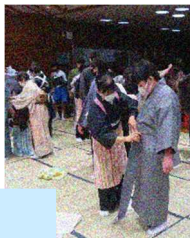
自ら考え、自ら学び、たくましく生きる児童生徒の育成～9か年の学びと育ちを基盤として～  
 学習指導の連続性（個性・能力の伸長） 児童・生徒指導の連続性（望ましい生活態度の確立）

学びや育ちをつなぐ

後期課程教員による  
前期課程への乗り入れ



ふるさと学習



発達段階に応じた ICT 活用



専門性を生かした  
外国語科授業

1年生活科と  
9年家庭科のコラボ



4年生からの専門委員会

• 9年間を見通した年間指導計画の作成

• 1年生からの一部教科担任制

• 教科横断的な指導の充実

• 5年生からの行事実行委員会 他

指導をどうえる

全校集会



前・後期課程合同研修の充実



相互授業参観・授業研究会



全校の防災教育

児童生徒会活動



後期課程生による読み聞かせ

• 学びのスタイルの共通実践

• 相互授業参観

• 児童生徒指導部会による共通理解

• 「絹のきまり」の共通実践 他

みんながつどう

入学式・後期課程進級式



地域とのつながりも  
大切にした運動会

発達段階の区切りを  
意識したきぬぎむす祭



卒業式

前・後期課程のそれぞれの集会



田んぼの学校  
田植え

中島橋花苗植え



• 本校ならではの学校行事

• 異学年交流

• 目的に応じた多様な集団活動

• 地域の教育力を生かした活動

• コミュニティ・スクールの推進 他